



F☆☆☆☆

DNT環境対応形
ノンモールドシステム

防かび・防藻工法

Shut Out

mold
alga

大日本塗料株式会社

建物の美観と清潔な環境を護る、
環境にやさしい防かび・防藻工法です。

湿度の高い食品工場や室内プールなどでは、
容易に「かび」や「藻」が発生してしまいます。
「かび」や「藻」は美観を損なうばかりか、衛生面でも好ましくありません。
「DNT環境対応形ノンモールドシステム」は、
新設・既設建築物の「かび」や「藻」発生を強力に防止。
弱溶剤タイプで人にも環境にも優しいシステムです。

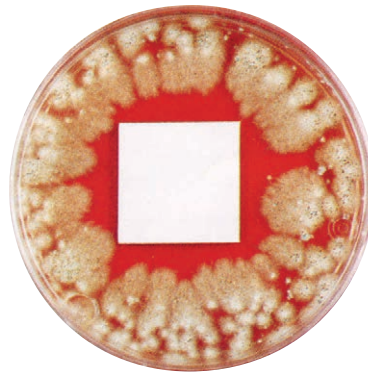
■用 途

- 食品工場
- 製紙工場
- 冷凍倉庫
- 保冷倉庫
- 室内プール など

■適用下地

- コンクリート、モルタル
- フレキシブルボード、
石膏ボード
- その他、無機系素材
- 鉄部

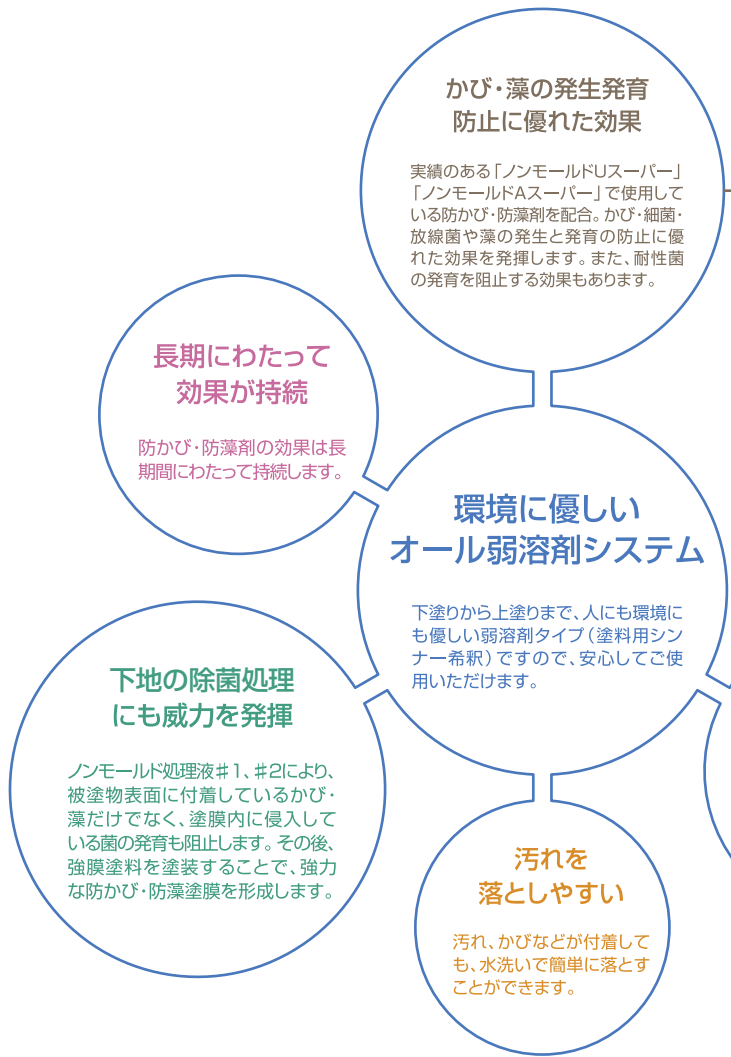
かび抑制比較 かび抵抗性試験 (JIS Z 2911) 4週間後



ノンモールドシステム



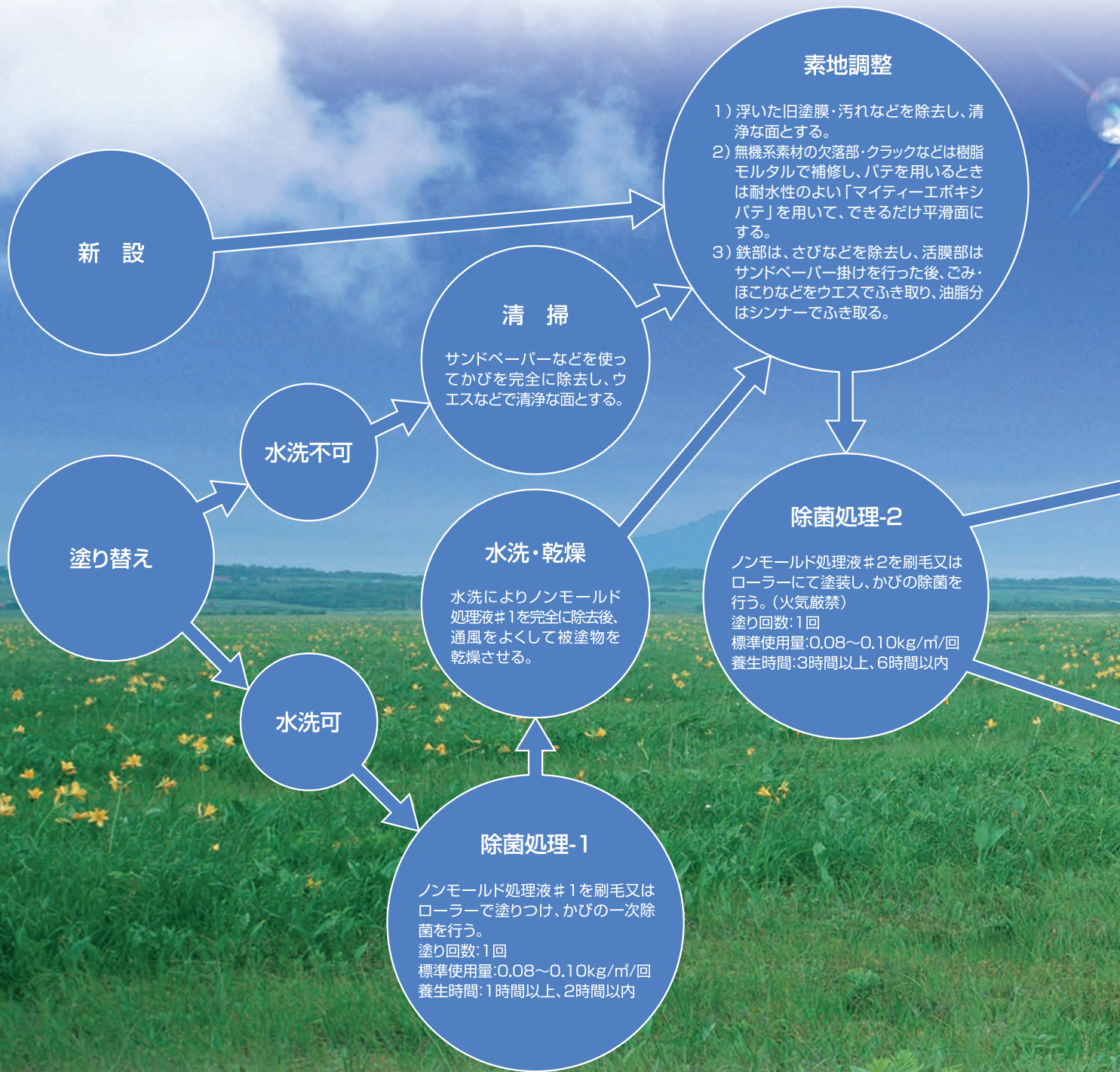
内装用一般塗料



※防かび、防藻剤およびノンモールド処理液#1、#2はすべてのかびや菌、藻に対する効果を保証するものではありません。

商品構成

	商品名	特長	容量
下地処理剤	ノンモールド処理液 #1	●除菌処理液(被塗物の漂白、除菌を行う。)	16L
	ノンモールド処理液 #2	●除菌処理液(塗装前に被塗物の除菌を行う。)	16L
下塗り	マイティー一液エポシーラー	●弱溶剤エポキシ樹脂系塗料(主に無機系素材用下塗塗料) ●一液タイプ	15kg
	マイティー万能エポシーラー クリヤー	●弱溶剤エポキシ樹脂系塗料(主に無機系素材用下塗塗料) ●二液タイプ(主剤:硬化剤=14:1)	15kgセット
	エポオールスマイル	●弱溶剤エポキシ樹脂系塗料(主に鉄部下塗塗料) ●二液タイプ(主剤:硬化剤=90:10)	18kgセット
	エポオールUNI	●弱溶剤エポキシ樹脂系塗料(主に鉄部下塗塗料) ●一液タイプ	16kg、4kg (白は16kgのみ)
上塗り	ノンモールドMUスーパー	●弱溶剤ウレタン樹脂系強力防かび・防藻塗料(つや有り、5分つや、3分つや) ●防火材料認定取得 ●二液タイプ(主剤:硬化剤=90:10) ●耐薬品性、耐水性に優れ、殺菌剤使用や水洗を何度も行う環境下で使用可能	15kgセット 4kgセット
	ノンモールドMAスーパー	●弱溶剤アクリル樹脂系強力防かび・防藻塗料(つや有り、5分つや、3分つや) ●一液タイプ ●一般環境下で使用可能	15kg
	ノンモールドNADスーパー	●弱溶剤アクリル樹脂系強力防かび・防藻塗料(つや消し) ●一液タイプ ●一般環境下で使用可能	16kg



■施工上の注意

- 「ノンモールド処理液#1」「ノンモールド処理液#2」は、絶対に混合しないで下さい。
- 除菌処理-1の工程で除菌が不十分な場合は、繰り返し処理を行って下さい。
- 水洗によりノンモールド処理液#1を完全に除去後、通風をよくして被塗物を乾燥させた後に、次工程に進んで下さい。ノンモールド処理液#2を塗装後は、通風をよくして被塗物を乾燥させた後に、次工程に進んで下さい。
- 塗装は使用前に十分攪拌し、均一な状態にしてから塗装して下さい。
- 屋外での貯蔵は避けて下さい。
- 新しいモルタルやコンクリート面の養生は十分に行って下さい。原則として3週間以上が適当です。含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。
- チョーキング面は、高圧洗浄機 [15MPa (150kg/cm²) 以上] で念入りに水洗し、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。
- 旧塗膜の浮きや有害な付着物は、高圧洗浄機やサンダー・ワイヤブラシ・皮スキ・ケレン棒などで完全に除去してから塗装して下さい。除去が不十分な場合、塗膜はく離の原因になります。
- 油・ワックスなどが付着している場合は、ハジキや付着不良の原因となりますので完全に除去して下さい。
- 塗り替え工事の際、下地の浮きは事前に樹脂注入を行って下さい。
- 塗装場所での気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露のおそれがある場所、また

素材	工程	商品名	作業内容	塗り回数 (回)	塗装方法	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
無機系 素材塗装	下塗り	マイティー万能 エポシーラー クリヤー	1) 主剤: 硬化剤=14:1の比率で混合する。 2) 塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	1	刷毛 ローラー エアレス	30~50	0.10 } 0.12	※1 4時間以上 7日以内
		マイティー液エポシーラー	希釈せずに原液を十分攪拌し、均一な塗料状態にしてから塗装する。	1	刷毛 ローラー エアレス	—	0.10 } 0.20	3時間以上 7日以内
	上塗り	ノンモールドMUスーパー	1) 主剤: 硬化剤=90:10の比率で混合する。 2) 塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	2	刷毛 ローラー	5~10	0.10	2時間以上 7日以内
			エアレス		10~20	0.13		
		ノンモールドMAスーパー	塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	2	刷毛 ローラー	0~10	0.12	2時間以上 1ヶ月以内
			エアレス		10~20	0.14		
ノンモールドNADスーパー	塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	2	刷毛 ローラー	5~10	0.12	2時間以上 1ヶ月以内		
	エアレス		10~20	0.15				

(注) 上塗りは塗装目的に合わせてご選択下さい。

※1 壁面での塗り重ね最小時間です。屋根面での塗り重ね最小時間は16時間です。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

鉄部 塗装	下塗り	エポオールスマイル	1) 主剤: 硬化剤=90:10の比率で混合する。 2) 塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	1	刷毛 ローラー	0~10	0.17	16時間以上 14日以内
			エアレス		0~10	0.22		
		エポオールUNI	塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	1	刷毛 ローラー	0~5	0.15	4時間以上 1ヶ月以内
		エアレス	5~10		0.19			
上塗り	ノンモールドMUスーパー	1) 主剤: 硬化剤=90:10の比率で混合する。 2) 塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	2	刷毛 ローラー	5~10	0.10	2時間以上 7日以内	
		エアレス		10~20	0.13			
	ノンモールドMAスーパー	塗料用シンナーで希釈後、十分攪拌し均一な状態にしてから塗装する。	2	刷毛 ローラー	0~10	0.12	2時間以上 1ヶ月以内	
	エアレス	10~20		0.14				

(注) 下塗り・上塗りは塗装目的に合わせてご選択下さい。

※本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

換気の悪い場所での塗装は避けて下さい。

- 降雨や降雪、結露のおそれがある場合は塗装を避けて下さい。
- 結露などで塗装面が湿っている場合、塗膜のはく離や乾燥不良の原因となりますので、塗装前に塗装面の確認を行って下さい。
- 飛散防止のための養生は十分行って下さい。
- 希釈は指定された希釈剤をご使用下さい。また希釈し過ぎないように注意下さい。希釈し過ぎた場合、ダレや隠れ不良、仕上がりが不良などの原因になります。
- 主剤と硬化剤を混合した「マイティー万能エポシーラークリヤー」、「エポオールスマイル」「ノンモールドMUスーパー」は、可使時間以内に使い切ってください。

- 塗膜性能を十分に発揮するためにも、塗付け量を守って下さい。
- 汚れや傷などで塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取っておき同一塗料、同一方法で補修塗装を行って下さい。
- 塗装後、乾燥不十分な状態での降雨・結露・高湿度などによる影響は、白化やシミとして残る場合があります。
- 食品工場を塗装する場合、食品に直接触れたり、塗膜に付いた水滴などが食品に入らないように注意して下さい。
- 塗装後は通気を良くし、かびや藻の栄養分となる物質を付着させないように清掃を行って下さい。

●下塗り

項目		種類	マイティー液エポシーラー	エポオールスマイル	エポオールUNI	マイティー万能エポシーラー クリヤー
容 姿			一液性	二液性	一液性	二液性
色 相			クリアー	赤さび色、グレー ライトグレー、Dホワイト	白、赤さび色 グレー、淡彩色	クリアー
光 沢			—	つや消し	つや消し	—
密 度(23℃)	塗 料		0.85±0.05	1.36	1.15	0.95±0.05
	揮 発 分		0.80	0.82	0.86	0.85
粘 度(23℃)			—	80KU	95KU	10~20秒
加 熱 残 分(%)			14~18	72	63	35~40
乾 燥 時 間	温 度		5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃
	指 触		1時間 30分 20分	3時間 1時間 40分	4時間 30分 20分	3時間 1時間 30分
	半 硬 化		8時間 3時間 2時間	18時間 6時間 4時間	8時間 1時間 45分	24時間 8時間 6時間
標準膜厚(μm/回)			—	50	50	—
引 火 点(℃)			SDS参照	SDS参照	SDS参照	SDS参照
発 火 点(℃)			SDS参照	SDS参照	SDS参照	SDS参照
爆発限界(下限~上限)			SDS参照	SDS参照	SDS参照	SDS参照
危 険 物 分 類	主 剤		第4類第2石油類	指定可燃物	第4類第2石油類	第4類第2石油類
	硬 化 剤		—	第4類第2石油類	—	第4類第2石油類
有 機 溶 剤 区 分	主 剤		第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
	硬 化 剤		—	第3種有機溶剤含有物	—	第3種有機溶剤含有物
有 害 物 質 表 示	主 剤		SDS参照	SDS参照	SDS参照	SDS参照
	硬 化 剤		—	SDS参照	—	SDS参照

●上塗り

項目		種類	ノンモールドMUスーパー	ノンモールドMAスーパー	ノンモールドNADスーパー
容 姿			二液性	一液性	一液性
色 相			白、各色	各色	白、各色
光 沢			つや有り・5分つや・3分つや	つや有り・5分つや・3分つや	つや消し
密 度(23℃)	塗 料		0.90~1.20	0.90~1.20	1.25~1.35
	揮 発 分		0.80	0.80	0.80
粘 度(23℃)			75~90KU	75~100KU	65~90KU
加 熱 残 分(%)			45~58	57~63	65
乾 燥 時 間	温 度		5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃
	指 触		1時間 20分 15分	1時間 20分 15分	1時間 30分 20分
	半 硬 化		2時間 40分 30分	2時間 40分 30分	3時間 2時間 1.5時間
標準膜厚(μm/回)			25	30	30
引 火 点(℃)			SDS参照	SDS参照	SDS参照
発 火 点(℃)			SDS参照	SDS参照	SDS参照
爆発限界(下限~上限)			SDS参照	SDS参照	SDS参照
危 険 物 分 類	主 剤		第4類第2石油類	第4類第2石油類	指定可燃物
	硬 化 剤		第4類第2石油類	—	—
有 機 溶 剤 区 分	主 剤		第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
	硬 化 剤		第3種有機溶剤含有物	—	—
有 害 物 質 表 示	主 剤		SDS参照	SDS参照	SDS参照
	硬 化 剤		SDS参照	—	—

*1. 上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

*2. その他詳しい内容につきましては単品説明書(DK SYSTEM)、安全データシート(SDS)をご覧ください。

* 本カタログ値は製品を適正にご使用いただくための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は事前にお問い合わせ下さい。

* 本カタログに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

使用上のご注意

●ノンモールド処理液#1

●施工上の注意

1. ノンモールド処理液#2とは絶対に混合しないで下さい。塩素ガスを発生します。
2. 塗布する際、ゴム手袋、保護メガネを着用し、皮膚や目に直接触れないようにして下さい。
3. 十分攪拌し均一な状態にしてから塗布して下さい。
4. 洗浄は水道水を使用して下さい。
5. 絶対に取付はしないで下さい。
6. 手、肌等に付着したときは直ちに水道水、石けん等で洗浄して下さい。

危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。

※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
2. 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護手袋、前掛け等を着用して下さい。
3. 取扱い後は、手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行ってください。
4. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
5. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
6. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
7. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処理

1. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
2. 誤って飲み込んだ時には、牛乳や生卵を飲ませ、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には安静にし、医師の診察を受けて下さい。
4. 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。

③

●ノンモールド処理液#2

●マイティー液エポシーラー

●マイティー万能エポシーラー クリヤー 主剤

●マイティー万能エポシーラー クリヤー 硬化剤

●エポオールスマイル主剤

●エポオールスマイル硬化剤

引火性の液体であり、危険有害性情報のある物質を含有していますので、注意事項を守って下さい。

※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
5. 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●エポオールUNI

●ノンモールドMUSーパー主剤

●ノンモールドMUSーパー硬化剤

●ノンモールドMASーパー

●ノンモールドNADスーパー

●緊急時の処理

1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

⑥⑦



DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (壽喜センタービル)
北関東営業所 ☎0480-26-5111 ☎346-0003 埼玉県久喜市久喜中央1丁目5-18 (辻屋ビル)
新潟営業所 ☎025-244-7890 ☎950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-54 (日生南笹口ビル)
千葉営業所 ☎043-225-1721 ☎260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 (富士見ハynesビル)
神奈川営業所 ☎042-786-1831 ☎252-0233 神奈川県横浜市中区産田1-7-7 (トラスト・テック相模原ビル)
静岡営業所 ☎054-254-5341 ☎420-0857 静岡市葵区御幸町8 (静岡三菱ビル)

●西日本販売部

大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
富山営業所 ☎076-444-5260 ☎930-0005 富山市新桜町6-15 (Toyama Sakuraビル)
京滋営業所 ☎075-595-7761 ☎607-8085 京都市山科区竹鼻堂ノ前町46-1 (京都山科ビル)
姫路出張所 ☎079-226-5727 ☎670-0965 兵庫県姫路市東延末1-1 (姫路NKビル)
岡山営業所 ☎086-214-1852 ☎700-0034 岡山市北区高柳東町10-30
広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
高松営業所 ☎087-869-2585 ☎761-8075 高松市多肥下町1511-1 (サンフラワー通り東ビル1)
福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>